

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料

特別の教科 道徳

教科用図書南那珂採択地区協議会

1 道徳科の目標の達成及び教材の構成・配列等

〔観点1〕 中学校学習指導要領に示された道徳科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 道徳科の目標を達成するために、全学年に「いじめ問題」「生命尊重」に関する3つの教材をユニット化することを通して、1つのテーマを深く学習できるように構成するなど、内容項目の関連を図りながら指導できるような構成・配列の工夫が見られる。
17 教 出	(1) 道徳科の目標を達成するために、取り組みやすさを重視した内容と分量で構成されており、生徒の心を揺さぶる読み物教材や問題解決的な学習を取り入れた教材を配置するなど、学びやすく、教えやすい教材の構成・配列の工夫が見られる。
38 光 村	(1) 道徳科の目標を達成するために、1年間を3つのシーズンに分け、関連性の深い内容項目が有機的に結び付く教材を複数配置することで、生徒の成長や問題意識に寄り添いながら学びが深まるような構成・配列の工夫が見られる。
116 日 文	(1) 道徳科の目標を達成するために、重要なテーマとして「『いじめ』と向き合う」「よりよい社会と私たち」を配置し、複数の教材やコラムをユニット化するなど、1年間の学習の流れを重視しながら、より深い学びが得られるような構成・配列の工夫が見られる。

発 行 者	概 評
224 学 研	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、特に「生命の尊さ」を重点的に扱い、他の内容項目とともに「いのちの大切さ」を考えさせる教材を複数配置するなど、多面的・多角的に考えることができるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
232 廣あかつき	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、喫緊の教育的課題である「いじめ防止」との関連を考慮し、「自主、自律、自由と責任」「思いやり、感謝」「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」を重点項目とし、年間を通して複数配置するなどの構成・配列の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的に自分とのかかわりで考えたり、多面的・多角的に考えたりできるような学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) いじめ問題については、「生命尊重ユニット」と「いじめ問題対応ユニット」を設定し、意図的な視点や意見を提示することで、多面的・多角的に考えたり、主体的に自分とのかかわりで考えたりできるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的に考えることができる学習活動を展開させるために、新聞の投稿欄の記事をもとにした教材や、漫画の表情やセリフを考える教材を活用するなど、さまざまな視点から学習することができる工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) いじめ問題については、3年間を通して、いじめを直接的に扱った教材や間接的に考えさせる教材、道徳科の時間以外でも活用できるコラムを配置するなど、生徒自身が問題意識をもち、主体的に自分とのかかわりで考えることができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的に考えることができる学習活動を展開させるために、教材末の「学びの道しるべ」では、何を、どのように考え、話し合っていくのか、学習の流れや発問例が分かりやすく示されているなどの工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) いじめ問題については、例えば「深めたいむ」において、日常に起こりがちな問題場面を取り上げることで、自己も他者も大切に生きることを考えさせ、情報モラルとも関連させるなど、主体的に自分とのかかわりで考えることができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的に考えることができる学習活動を展開させるために、全学年に「広げよう」を設け、一つの答えが出ない課題や、解決が難しい課題、生徒に考えてもらいたい現代的な課題を取り上げるなどの工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) いじめ問題については、3年間を通して、いじめが起きやすい時期に、生徒にとって身近な問題を扱った教材やいじめへの理解を深めるコラムなどを複数配置することで、主体的に自分とのかかわりで考えることができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的に考えることができる学習活動を展開させるために、生徒にとっての身近な問題や、社会で活躍する人々について、「社会への参画」と「将来の生き方」の視点から教材をユニット化するなどの工夫が見られる。</p>

発 行 者	概 評
224 学 研	<p>(1) いじめ問題については、特設ページ「クローズアッププラス」で、「生命の尊重」「いじめ防止」につながる3つのテーマを扱うなど、他者とよりよく生きることや、主体的に自分とのかかわりで考えることができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的に考えることができる学習活動を展開させるために、考えを深めさせる問いかけを示した「?ボックス」や「!ボックス」、教材をもとに考えを深めさせる特設ページ「深めよう」を設けるなどの工夫が見られる。</p>
232 廣あかつき	<p>(1) いじめ問題については、巻末に「いじめを許さない私たちの心」を配置し、道徳の内容に示された4つの視点から考えを深めたり別冊資料でグラフや構造図を用いたりするなど、主体的に自分とのかかわりで考えることができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的に考えたりすることができる学習活動を展開させるために、「問題解決的な学習」や役割演技・動作化などを通して深く考える「体験的な学習」を促す教材を配置するなど、道徳的諸価値を深めることができる工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 利便性や生徒にとっての分かりやすさについては、巻頭で「話し合いの手引き」や基本的な授業の流れを示した「道徳の授業はこんな時間に」を設けるなど、主体的・対話的な学習を進めるための工夫が見られる。</p> <p>また、各教材に自分の考えや思いを書き込む「つぶやき」の欄や巻末に「自分の学びを振り返ろう」を設けることで、学習を継続的に深められ、成長の記録として活用することができるなどの工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 利便性や生徒にとっての分かりやすさについては、巻頭に、「道徳科で学びを深めるために」を設け、多様な考えを深めていく学習場面を例示することで、人間としての生き方について考えを深めるための工夫が見られる。</p> <p>また、学習の感想を記入する「授業の記録」や、「道徳の学びを振り返ろう」を巻末に設けることで、学びを振り返り、自分のよさや課題に気付くなど自己を見つめ直すことができる工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 利便性や生徒にとっての分かりやすさについては、巻頭に「道徳の授業を始めよう」、「どうやって学ぶの?」や「なぜ学ぶの?」を設け、学びを見通し、目的意識をもって授業に向かうことができるような工夫が見られる。</p> <p>また、「道徳の学びを振り返ろう」のページやポートフォリオ形式の「学びの記録」を巻末に設け、考えたことや感じたことを書き込ませていくことで、自ら考えを深めたり、成長を実感できる記録として活用したりできるなどの工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 利便性や生徒にとっての分かりやすさについては、巻頭に「道徳科で学ぶこと」や「道徳科での学び方」を設けることで、生徒が「考え、議論する道徳」の基礎・基本を理解し、主体的に学習に取り組むことができるなどの工夫が見られる。</p> <p>また、別冊の「道徳ノート」では、生徒の学習状況や考え方の変化などを毎時間記録することができ、さらには、自分と友達の見解を書く欄を設けることで、自分の意見と友達の見解を比べて考えることができるなどの工夫が見られる。</p>

発 行 者	概 評
224 学 研	<p>(1) 利便性や生徒にとっての分かりやすさについては、巻頭に学び方や学ぶ内容を想起できる「明日への扉を開く」や「よりよく生きるための22の鍵」を設けることで、考えを深める4つのポイントを押さえながら、主体的に学習に取り組むための工夫が見られる。</p> <p>また、各教材の問いに対して自分の考えを記入できる書き込み欄や巻頭に「マイプロフィール」、巻末に「心の四季」と「学びの記録」を設けることで、年間を通して自分の成長を実感することができるなどの工夫が見られる。</p>
232 廣あかつき	<p>(1) 利便性や生徒にとっての分かりやすさについては、例えば2年生の巻頭に「自分を考えようー道徳の時間とは」を設け、道徳科における学習活動や考える視点を具体的にイメージできるなどの工夫が見られる。</p> <p>また、別冊の「道徳ノート」では、授業で考えたことや感じたことを記述する「学習の記録」や、教材ごとに学びを振り返る「心のしおり」を設けることで、心の記録として自己の成長に気付かせることができるなどの工夫が見られる。</p>

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

〔観点4〕 地域の願いや思いを基盤とした学習を推進するとともに、生徒の道徳性を養うという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 家庭や地域との連携については、地域について考える場面を多く掲載したり、巻末付録に各都道府県の人物や伝統・文化、技術や産業などについて紹介したりするなど、地域とのかかわりを意識できるように工夫している。</p> <p>(2) 未来に夢や希望をもって、よりよく生きようとする生徒を育成するために、教材文や漫画を読み、最後の設問に示された問いを通して考えるという構成になるように工夫している。</p>
17 教 出	<p>(1) 家庭や地域との連携については、郷土の伝統と文化、それを継承・発展させてきた人々の姿を取り上げたり、巻末資料でゆかりのある人物とその言葉を紹介したりするなど、郷土を愛する態度を育成できるように工夫している。</p> <p>(2) 未来に夢や希望をもって、よりよく生きようとする生徒を育成するために、教材の冒頭で学習のねらいを明確にし、全体で共有しながら学習を展開できるように工夫している。</p>
38 光 村	<p>(1) 家庭や地域との連携については、第1教材や巻末の「先生方・保護者の方々へ」などで目標を明確に伝えたり、住んでいる地域と関連させて考えることができるコーナーを設けたりするなど、主体的な学びを展開できるように工夫している。</p> <p>(2) 未来に夢や希望をもって、よりよく生きようとする生徒を育成するために、教材ごとに「てびき」を設け、主体的・対話的で深い学びを促進できるように工夫している。</p>
116 日 文	<p>(1) 家庭や地域との連携については、巻頭などのメッセージ性の強い紙面で目標を明確に伝えたり、各地域の魅力的な教材を取り上げたりするなど、生徒が実感を伴った学習を展開することができるように工夫している。</p> <p>(2) 未来に夢や希望をもって、よりよく生きようとする生徒を育成するために、「プラットフォーム」や「参考」などを設定し、学びを広げ深めることができるように工夫している。</p>

224 学 研	<p>(1) 家庭や地域との連携については、隣県で発生した地震や本県とかかわりのある人物を取り上げたり、伝統文化や社会参画に関する内容を取り扱ったりするなど、地域とのかかわりを意識しながら実感を伴って学習を進めることができるように工夫している。</p> <p>(2) 未来に夢や希望をもって、よりよく生きようとする生徒を育成するために、偉人等の生き方に触れる教材を多用し、自らの生き方を見つめることができるように工夫している。</p>
232 廣あかつき	<p>(1) 家庭や地域との連携については、裏表紙に「保護者の皆様へ」を設けて目標を明確に伝えたり、関連する先人や著名人の言葉を効果的に取り上げたりするなど、生徒が実感を伴った学習を展開できるように工夫している。</p> <p>(2) 未来に夢や希望をもって、よりよく生きようとする生徒を育成するために、教材ごとに「考える・話し合う」を設定し、主体的・対話的で深い学びを展開できるように工夫している。</p>